

3号機蒸気式空気抽出器用安全弁の点検について

3号機は原子炉起動中ですが、平成17年3月9日午後6時頃、タービン建屋1階において、主復水器^{*1}内の空気を抽出し、真空を維持するための蒸気式空気抽出器^{*2}用駆動蒸気配管に設置された安全弁^{*3}に不具合があり、本来流れない蒸気が主復水器内へ流れていることを確認しました。

そのため、起動操作を中断し、安全弁の状態確認を実施しておりましたが、状態が改善されないことから、今後、原子炉の出力を低下させ、主復水器の真空状態を大気圧に戻し、当該弁の手入れを行う予定です。

なお、外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 1 主復水器

タービンを回した蒸気を海水により冷却し水に戻す機器。

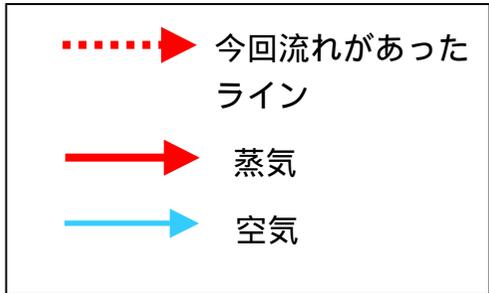
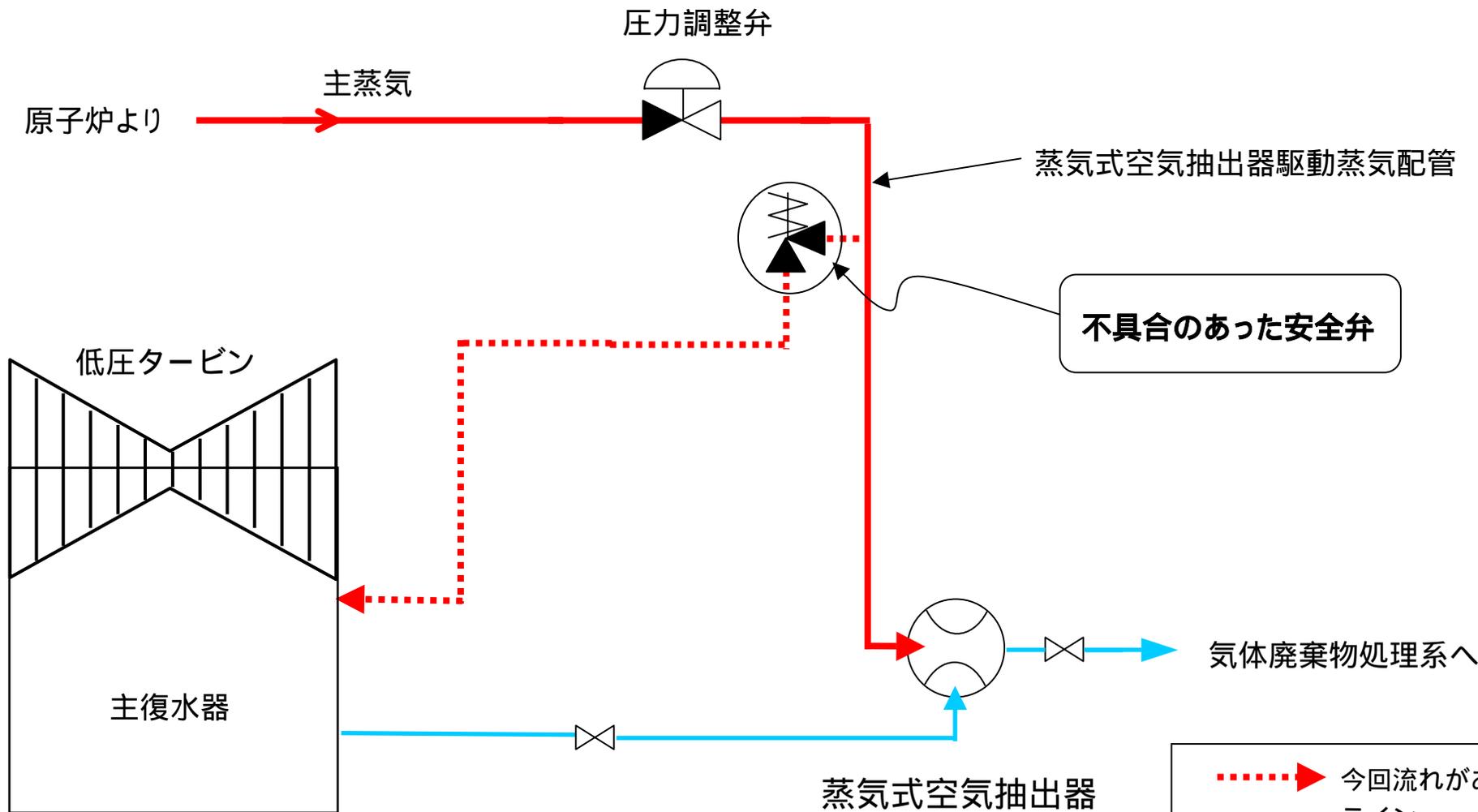
* 2 蒸気式空気抽出器

復水器の真空維持のため、主蒸気等を駆動源として速い流れの蒸気を噴射し、発生した圧力差で復水器内の空気を抽出する装置。

* 3 安全弁

当該配管の圧力が高くなった場合に動作して減圧させるための弁。

これは「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」(平成15年11月10日お知らせ済み)における区分の事象として、前日に発生した不適合事象を公表しているものです。



3号機空気抽出系概略図